

ニュースクリップ News Clip

あ き ひと しょう こう にん
商きない工らす人びと **ふくしま商・工・人**

- P2 ヒストリーインタビュー
- P3 第57回通常総会
- P4 青年部・女性部だより
- P6 いいものmekke
ゆいプリンリッチ
都路町 MIYAKOJI sweets yui
(みやこ sweets yui)
- P8 元気印!!ズームアップ
- P10 Information 商工会だより
- P12 掲示板

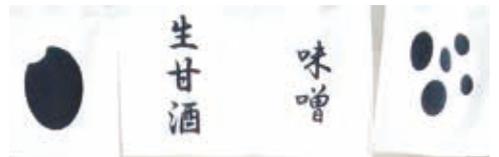
良質な糰づくりこだわり続けている矢吹町の「やまさ味噌こうじ店」さんにお伺いしました。

ヒストリーインタビュー

味噌糰屋が“醸す”発酵の世界

矢吹町・やまさ味噌こうじ店

2017.9.1
Vol.377



味噌糀屋が“醸す”発酵の世界

事業紹介

当社は、先々代が味噌・糀製造業として創業し、現在まで七〇年余り地元の皆様を中心に愛されてきました。創業者が酒蔵の職人だったので、『良い糀が良い商品を作る』という信念のもと良質な糀づくりにこだわり続けています。現在では味噌の製造販売を中心としながらも、この良質な糀を活かした生甘酒や生塩糀などさまざまな糀関連商品を取り扱っております。添加物を一切使わない安心安全の、体が喜ぶ商品となっております。平成二十三年には品質の高さが評価され、『福島県ブランド認証産品』に認定されました。

自社の強み

当社の『糀』は厳選した国内契約栽培米を丁寧に蒸し上げ、米の一粒一粒に糀菌がいきたる様に伝統の製法で丹念に手作業にて作り上げています。機械による大量生産・効率化に頼ってしまつても、どうしても糀にムラや乾燥が生じてしまいます。非効率で少量しか生産できなくても、糀菌や酵素の働きが非常に活発なこの『生きた生糀』は当社の発酵食品作りにはなくてはならないものです。できたての『生きた生糀』で仕込んだ味噌や生甘酒、生塩糀は芳醇な香りと旨みがあり、栄養価も高く、酵素の働きが非常に活発です。例えば味噌の場合、熱処理も添加物も一切使用していないため、袋詰め状態で販売している」と発酵により袋が破裂してしまいます。

そのため店頭での量り売りを実施しております。なお、より酵母が活発な状態でお客様にお届けするために、当日販売するぶんのみ毎日蔵出ししております。

事業の転機

近年消費者嗜好の多様化、日本食離れにより、特に若年層の味噌離れが進んでおります。創業より味噌の製造販売を中心に行ってきたが、当社でも顧客年齢が高く、新規顧客の割合が低いことが問題でした。三代目が家業を継ぐ決意を固め修行から戻るのがきっかけに新規顧客をターゲットにした新たな取り組みがスタートしました。

まず、はじめに人通りの多い通り沿いに二号店をオープンしました。広告などを打って既存の店に人を集める努力をするよりも、こつちからお客様の近くに行こうという想いで進出でした。それと同時にブランドの統一化を図った商品パッケージの一新を行い、さらにはお客様を惹きつける店舗イメージの構築と情報の発信が重要であると考え、商品イメージを具現化した看板・日よけ暖簾のれん・のぼり旗を設置することにより、商品と店舗のイメージの統一化を目指し、店内に入ることなく外観から販売商品を知りえる環境を整え、従来までの『味噌屋』としての固定観念を覆し、豊富に糀商品を取り扱う店舗としての新たなイメージを発信しました。これらの効果もあり、安心安全を重要視する子育て世代の母親層や、健康志向の幅広い年齢層の新規顧客が年々増加しています。

商工会との関わり

福島県商工会連合会主催の「食のフエア」に何度か出店させていただきました。様々な職種の店舗が並び、出展者の立場からだけでなく、利用者の立場からも会場を視察することで、お客様が入りやすい店舗作り、手に取りやすい陳列方法や、贈り物として選ばれやすい包装など、勉強になることがたくさんありました。そして、試食や呼び込みでお客様を引き寄せていく中で、店舗に来てくださるお客様のありがたさを再確認することができたことは大変貴重な体験となりました。

他にも今年日本橋のMIDDLEにて開催されたマツチング商談会にも参加させていただきました。一流百貨店のバイヤーとの商談は非常に有意義な時間であり、今の時代が生産者に求めているものを知ることができ、そしてそれらを商品開発に活かすことができている。

また、担当の経営指導員にはいつも刺激をもらっています。年齢も近いことや青年部活動をともししていることもあり、仕事のことは勿論、様々な話を聞く機会があります。私が経営方針の話をしていると、持続化補助金や専門家派遣の支援制度についてアドバイスをサポートしてくれ、とても心強い存在です。経営指導員の勧めもあり、この度糀商品の更なる充実と顧客ニーズに応えるため、経営革新計画を策定し、認定を受けました。現在、その計画に沿い新商品の開発に励んでおります。

今後の目標

近年「発酵食」に注目が集まっています。当社でも糀に対するお客様の意識の変化を日々感じております。これからも創業以来こだわってきた『良い糀が良い商品を作る』という信念を貫き『生きた生糀にこだわり安全安心な商品を提供すると同時に、『やまさ味噌・こうじ店』にしか表現できない『醸す』を大切に、地元はもろろんの事、福島県から発酵の世界を発信していきたいと思っております。



企業概要

企業名 やまさ味噌こうじ店
 代表者名 代表 佐藤 忠義
 住所 〒969-0221
 (中町店) 福島県西白河郡矢吹町中町401
 TEL/FAX 0248-42-3359
 U R L https://yamamasamisokoujiten.jimdo.com
 営業時間 9:00~18:30
 休日 毎週火曜日

※八幡町店は「営業時間」「定休日」が異なります。
(お問い合わせ: 0248-42-2900)



ふくしまの商工業の再生を目指して

第五十七回通常総会

去る五月二十五

日、福島市「ウエ

ディングエルティ」に

おいて第五十七回

福島県商工会連

合会通常総会を

開催した。席上、商

工貯蓄共済並びに優良商工会等の表彰

を行い、続いて来賓の内堀知事、県議会議

長(杉山議長欠席のため、勅使河原正之

県議会議員が代読)が祝辞を述べた。議

事では、重点事業として、昨年度に引き

続き、商工会の広域的な連携強化事業

として地域の商工会、会員の事業者の再

生・再建の支援をするためのマンパワーの

不足を補うため、復興経営指導員、復興

経営支援員の設置や、日本橋ふくしま館

(MIDETTE)を運営する「福島県

首都圏情報発信拠点アンテナショップ戦

略事業」、また、小規模企業振興基本法を

踏まえた小規模企業支援の推進など、風

評被害払拭、県産品消費拡大と、中小企

業、小規模事業者の持続的な経営に向け

た支援などを盛り込んだ、平成二十九

年度の事業計画を決定した。役員補充選任

では、二瓶恵美子県商工会女性部連合会

長(滝根町)が理事に選任された。



平成二十九年 事業計画重点事項

一、東日本大震災・原発事故の被災中

小企業・小規模事業者に対する商

工会組織を挙げた支援の強化

① 東日本大震災及び原発事故に伴

う中小企業・小規模事業者の再

生・再建と避難地域商工会機能

の回復・強化への支援

② 原子力損害賠償の完全実施への支援

③ 被災商工会に対する商工会組織

を挙げた支援の実施

④ 被災商工会等の復興ビジョンに基

づく事業の実施

二、原発事故による風評被害払拭と消

費拡大に向けた取り組み

① 福島県首都圏情報発信拠点アン

テナショップ戦略事業

② ふくしまの新たな商品開発に向

けた支援事業

③ 通信販売(頒布会)支援事業

④ ふくしま県産品販路拡大・人材育

成支援事業

⑤ 福島県の産品・加工食品放射能

検査支援

⑥ 福島美味しいものの食のフェア

⑦ 福島美味セレクトフェア

三、小規模企業振興基本法を踏まえた

小規模企業支援の推進

① 伴走型経営支援の実施

② 経営発達支援計画の認定の推進

③ 経営発達支援計画認定後の実行支援

四、中小企業・小規模事業者の復興と

持続的発展に向けた支援の強化

① 提案型の経営支援・巡回訪問の推進強化

② 小規模事業者の持続的な経営に

向けた支援の推進

③ 消費増税・軽減税率導入に向け

た事業者支援体制の強化

④ 福島県中小企業者復興支援事業

(復興支援員の設置)

⑤ 避難地域商工会等機能強化支援

事業(復興専門員の設置)

⑥ 中小企業震災復興・原子力災害対策

経営支援センター福島(四分子事業

⑦ 商工会の広域的な連携強化事業(復興

経営指導員、復興経営支援員の設置)

⑧ ICT活用による小規模企業の

生産性及び経営力向上の支援

⑨ 経営支援事例の共有とノウハウの

蓄積による伴走型経営支援の推進

⑩ 中小企業・小規模事業者に対する

金融支援の強化

⑪ 中小企業・小規模事

業者に対する事業

継続計画(BCP)

策定支援

⑫ 中小企業・小規模事業

者に対する支援機関

連携による経営支援

五、商工会の組織基盤の強化及び徹底

した会員サービスの充実強化

① 商工会の組織基盤の強化

② 商工会職員の資質向上対策の推進

③ 会員サービスの充実強化

六、商工会地域経済振興事業による地域再生

① 商工会等地域復興ビジョンへの取組み支援

② 商工会地域貢献アピールプラン策

定と積極的アピール

③ 地域生活者支援システム構築の支援

商工貯蓄共済表彰

目標達成商工会

国見町、三穂田町、

只見町、葛尾村

平成二十八年 度 実施事業

優良商工会等表彰

(事業功績)(企業支援部門)

経営革新計画策定支援

持続化事業支援

富久山町、矢吹町

岩瀬、石川町、平田村、浅川町、矢吹町、埴町、鮫川

村、桜枝岐村、北塩原村、猪苗代町、会津坂下町

(事業功績)(記帳支援部門)

記帳支援事業

(優良職員)(職員資質向上)

西会津町

(新役員)(役員補充選任)

安斎秀栄(喜久田町)

理事 二瓶恵美子(県商工会女性部
連合会長・滝根町)



県青連第50回通常総会の開催

福島県商工会青年部連合会第50回通常総会が5月9日(火)、多数の青年部員が参加のもと、西郷村「東京第一ホテル新白河」にて開催されました。樽井良部長(あだたら)が議長に指名され、第1号議案から第3号議案まで審議を行い原案通り可決承認されました。議案第4号では任期満了に伴う役員選任を審議し、河治徹会長(片平町)が会長に再任となり、新役員26名が選任されました。また、福島県商工会青年部員顕彰として、人(ヒューマン)づくり部門、ネットワークづくり部門、まち(地域)づくり部門、感謝状の個人8名と1団体の顕彰受賞式を行いました。



青年部新役員

役職	氏名	所属商工会	役職	氏名	所属商工会
会長	河治 徹	片平町	理事	高橋 公助	都路町
副会長	押田 洋平	矢祭町	〃	水野谷吉和	中島村
〃	廣田 誠	あだたら	〃	秋元 雅幸	大信
〃	菅家 三吉	三島町	〃	高畑 正樹	湯川村
〃	渡辺 雄一	富岡町	〃	酒井 聡志	昭和村
〃	蛭田 行則	田人町	〃	星 一寛	南会津町
理事	齋藤 仁志	国見町	〃	山口 和久	あいづ
〃	須田 友宣	伊達市	〃	井出 健人	川内村
〃	武田 秀克	大玉村	〃	杉本 誠	大熊町
〃	熊谷 行信	平田村	〃	鈴木 秀典	三和町
〃	佐藤 考行	富久山町	監事	菅野 昭則	川俣町
〃	渡辺 隆治	船引町	〃	糸井 秀一	岩瀬
〃	櫻井 兵一	湖南町	〃	中川 貴行	北塩原村

青年部員顕彰受賞者

人(ヒューマン)づくり部門(個人)

野尻 直之(本宮市)

ネットワークづくり部門(個人)

安齋 忠幸(飯坂町)

まち(地域)づくり部門(団体)

熱海町商工会青年部

感謝状

渡邊 巖(伊達市)

阿部 弘文(岩瀬)

佐藤 利彦(表郷)

弓田 拓也(下郷町)

結城 浩二(楢葉町)

平 幹憲(内郷)

全国商工会青年部連合会副会長に河治会長が就任

平成29年5月17日に全国商工会青年部連合会通常総会が開催され、河治県青連会長が全青連副会長に選任されました。福島県から副会長が選任されるのは28年ぶり2人目です。



青年部トップセミナーの開催～最優秀賞に橋本勝さん(矢吹町)～

平成29年6月29日、「平成29年度商工会青年部トップセミナー」がいわき市芸術文化交流館アリオスにて開催されました。県内6ブロックの代表者が常日頃、青年部活動において抱いている想いを発表する主張発表福島県大会では、「青年部活動に参加して～受け継がれるフロンティアスピリット～」と題し発表した、県南地区代表の橋本勝さん(矢吹町)が栄えある最優秀賞(県知事賞)に輝き、「平成29年度東北6県・



北海道ブロック主張発表大会」に福島県代表として出場することが決定しました。また、「これからの企業経営と青年部活動のあり方…」を演題に株式会社デネブ代表取締役 植村和宣氏(全青連相談役)による講話をいただきました。

商工会女性部トップセミナー・第50回通常総会開催される！ 主張発表大会 最優秀賞(県知事賞)に鈴木キヨ子さん(桑折町商工会女性部)！

とき:平成29年5月11日(木)～12日(金)

第50回県商工会女性部連合会通常総会は、5月11日～12日、会津若松市東山温泉「御宿東鳳」において開催され、内堀県知事をはじめ御来賓を迎え、県内89商工会から239名の部長・部員が出席しました。通常総会では横田恵子部長(新地町)が議長となり第1号議案から第4号議案までを可決承認しました。今年度は創立50年という節目の年にあたり50周年記念事業を実施いたします。その他に、総会の席上で昨年度新規部員の加入数が最も優れていた3女性部に対し表彰及び報奨金として目録の授与を行いました。また、任期満了による役員選任が行われ、二瓶恵美子会長(滝根町)が選任されました。

平成28年度新規部員加入実績

- 第1位** 矢吹町商工会女性部 加入数 10名
- 第2位** きたかた商工会女性部 加入数 8名
- 第3位** 富岡町商工会女性部 加入数 4名



上段右: 部員増強表彰の様子
上段左: 服部前会長と6地区の主張発表代表者の皆さん



下 段: 新役員の方々の皆さん



県女性連新役員

役職	氏名	所属商工会	
会 長	二瓶恵美子	滝根町	新
副会長	吉田 岑子	双葉町	
〃	渡邊 富子	矢吹町	
〃	鈴木 礼子	内 郷	
〃	猪股 成子	南会津町	新
〃	齋藤 光子	伊達市	新
理 事	佐久間信子	飯野町	
〃	櫻井恵美子	川俣町	新
〃	島田 恵美	飯坂町	新
〃	鈴木真理子	玉川村	新
〃	神田ミサ子	富久山町	新
〃	水谷智世子	中田町	新
〃	八木沼とし子	長 沼	新
〃	熊倉 うめ	中島村	
〃	塩田しげ子	棚倉町	新
〃	佐藤 順子	只見町	新
〃	目黒留美子	会津坂下町	新
〃	氏家 待子	西会津町	新
〃	星野 幸子	会津美里町	新
〃	山本千代子	大熊町	
〃	三瓶 幸子	富岡町	
〃	瀬谷 光子	田人町	
監 事	高橋美佐子	小野町	新
〃	渡部由美子	北塩原村	新

※理事・監事地区順

東北六県・北海道商工会女性部員交流研修会「未来へと輝く女性が創る道」

とき:平成29年7月12日(水)～13日(木) 場所:秋田市「秋田ビューホテル」

第17回東北六県・北海道商工会女性部主張発表ブロック大会は、秋田市「秋田ビューホテル」にて開催され31名の県女性連役員・発表者等が出席しました。大会では本県から、桑折町商工会女性部 副部長の鈴木キヨ子さんが「女性部活動に参加して」～地域復興と部員増強への取り組み～をテーマに発表されました。残念ながら全国大会出場とはなりませんでしたが、女性部が知恵と勇気とチームワークと行動力を発揮して、大きな成果に繋げる事ができたという素晴らしい発表内容でした。その他翌日に、東北六県・北海道商工会女性部連合会の会長会議が開催され、平成29年度全女性連まち(地域)づくり顕彰のブロック代表について協議が行われ、協議の結果、内郷商工会女性部の「徳ひめちゃま」とまちおこし事業がブロック代表となることが決まりました。内郷商工会女性部さんは、10月に開催される全国大会in岐阜大会の席上で顕彰の授与が行われます。



福島県代表: 鈴木キヨ子さん(桑折町)



東日本大震災 復興応援プロジェクト版

田村市都路町
MIYAKOJI sweets yui
(みやこじスイーツゆい)

ゆい・プリンリッチ

お店を紹介します

郡山市から国道288号線を東へ1時間ほど進んだ阿武隈山脈のふもとにある水と風のきれいな場所にある卵色の可愛い建物が今回主役のお店です。地場産品である「都路たまご」や「じゅうねん(えごま)」を使用し、安全でからだにやさしいお菓子を提供しています。

オープンのきっかけ

2011年の東日本大震災及び東京電力第一原発事故により、都路町全域が避難区域となりましたが、避難解除となり復興への歩みを進める中で農業専従者が多いこの地域は風評被害で評判の高原野菜が売れなくなり生業が成り立たなくなるばかりか若者のふるさと離れが大きな課題となっていました。

そこで立ち上がったのが「都路町商工会6次産業化プロジェクト事業」「**都路町の特産品をつくらう!**」というスローガンのもとに都路町商工会が中心となり都路の活性化と雇用創出の機会を提供する場として地場産品開発をスタートさせました。東京プリンホテル 製菓・製パン料理長の内藤武志氏に技術指導をいただき、お菓子作り未経験のスタッフが日々研鑽し、地場産品を使った安心できる製品作りに取り組み、ついに、平成28年3月「みやこじスイーツゆい」をオープンさせました。

多くの人にこのおいしさをお届けするために、ゆいは、県内外のイベントにも積極的に参加しています。地域と連携しながら常に新しいことに挑戦し、スタッフ一同研鑽・努力を惜しまず邁進しています。今後も、ゆいの新しい挑戦から目が離せません。



人気No.1商品!

看板メニューの ゆいプリンリッチ 324円(税込)

「都路たまご」をたっぷり使った、とろーりなめらか極上プリン。卵黄と生クリームがたっぷり入っていて食感はなめらか。別添えのカaramelソースをかけていただくとうさら美味しくなります。



看板メニューのほかに、都路が誇るブランド卵「都路たまご」を使用した安心・安全なスイーツを販売しています。

- ゆいぷりん 162円
- シフォンケーキ
1ホール 1,296円
1カット 216円
- みやこじ杜ロール
1本 1,080円
1カット 248円



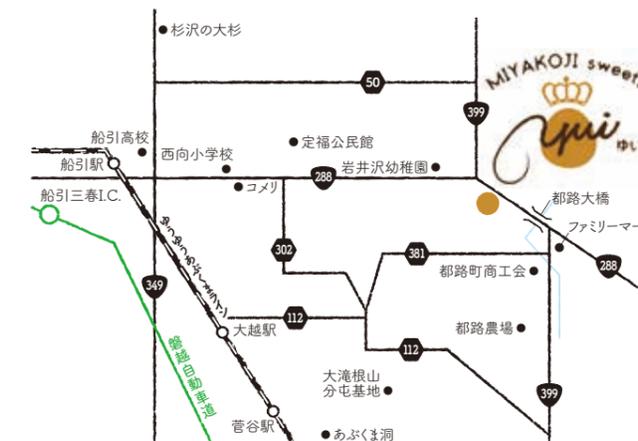
その他、クッキーなどの焼き菓子などもあり、ジェラート(350円)なども人気です。
*ギフトボックスも用意しており、お土産にも喜ばれることまちがいないし。地方発送も行っています。

店内にはカフェスペースもあり、あぶくまの天然水で淹れたオリジナルブレンドコーヒーや紅茶などセットメニューもあります。メニューは3種類あり、中でもゆいプリンセットが人気。プリンにアイスクリームと生クリームブルーベリーが添えられた一皿が堪能できます。(540円)



〒963-4702 田村市都路町岩井沢道ノ内65-1
☎ 0247-73-8380
<http://miyakoji-sweets-yui.com>

営業時間 9:30~18:00
定休日 毎週水曜日



会津

南会津町商工会

風評被害に負けない!! 奥会津の天然山菜を食卓へ



有限会社 平野物産店
代表取締役 平野 隆一氏

〒967-0345
福島県南会津郡南会津町宮里字板橋1936
TEL 0241-78-2532
FAX 0241-78-2132

■補助金を活用した生産性向上支援

当社は、南会津町の館岩地域で昭和35年より山菜加工・製造販売をしています。南会津の豊かな自然に育まれた野菜や山菜を自然の風味を損なわず素材その物の美味しさを引き出すよう心をこめて、日々商品づくりに励んでいます。ある日の巡回において、設備の買い替えに関する相談を受けました。現在は旧式の大釜を使用しており、老朽化による燃費の悪化が著しいことに加え、手作業の多い製造工程や少容量生産により製造にかかるコストが極めて高い状態にあり、またこれ以上の価格引き上げも難しいことから、低利益による事業活動が続いている状態にありました。そこで、補助事業を活用して大釜と専用のポイラーを更新することで、生産性と品質の向上を図ることを提案し、南会津町の「地域活力創生事業補助金」の申請を行うこととなりました。無事補助事業の採択を受け、新型の大釜と専用ポイラーを導入したことで、燃費の向上による経費の削減や1回あたりの生産量アップと所要時間の短縮が実現でき、併せて商品の



ムラが少なくなり品質が向上し、検品作業に費やす時間も減るなど安定した生産が可能となりました。さらに、製造工程の効率化によって生まれた時間を活用し、衛生管理等の従業員教育を行うこともできるようになりました。今後は、地域資源を活かした自社ブランド商品開発や販路開拓に力を注ぎ、事業発展に繋げていけるよう、継続的な支援を行っていきます。

■商工会の支援

未だに天然の山菜物は放射能等の風評被害の影響を克服できず、さらに地域の高齢化が進み農業規模の縮小や山へ入る山菜捕手人の不足など材料調達にも影響が出始めています。今後の事業継続に不安もありましたが、商工会が親身になってこれからの事業展開について相談に乗ってください、今後の経営方針をある程度固めることができました。また、今回の補助事業の活用においては、補助金申請から実績報告まで職員の方に伴走して支援していただき感謝しています。今後とも商工会の支援をいただきながら頑張っていきたいと思えます。



浜通り

双葉町商工会

復興の道を切り開くべく、 双葉町でガソリンスタンド再開



株式会社 伊達屋
代表取締役 吉田 知成氏

〒979-1471
福島県双葉郡双葉町長塚字町東66-1
TEL 0240-33-2212
FAX 0240-33-2410
営業時間/9:00~17:30
定休日/土、日、盆、年末年始

■事業紹介

伊達屋は明治時代に双葉町にて創業し、東日本大震災時には国道6号線沿いにガソリンスタンドを構え、プロパン他各種燃料の小売を行ってまいりました。震災時、父である現会長は原発事故による避難勧告が発令されるまで避難される方々への給油活動を続け、全町避難となった際は、川俣町の各避難施設まで暖を取るための灯油を運搬し続け、町民を支え続けてきました。以後、休業を余儀なくされましたが、未だ避難指示(町の96%が帰還困難区域)が続く中でも町の復興計画が徐々に策定され、計画実現化には燃料供給業が不可欠な点、早期に事業再開すれば避難中の町民に明るい兆しを実感してもらえ、そして、明治時代から続く暖簾を途絶えさせるわけにはいかないと、平成28年2月に東京で勤めていた会社を辞め、父よりの事業承継を決断しました。事業再開に向けては、敷地内除染、店舗復旧、人員確保、採算性と幾多の課題がありましたが、様々な機関、人々に助言



を得ながら課題を克服し、今年6月5日に1年以上の準備期間を経て元あった地でガソリンスタンドを再開することができました。再開から1ヶ月半が経過し、朝は6時半から町内の各工事現場にローリー車で燃料配達し、店舗営業時間中は店頭給油を间断なく続け、私を含め従事者5人はフル回転の状態、日々忙しく経過しております。

■商工会との関わり

東京で長く会社勤めをしていましたので、個人的には地元商工会と大きく接点はありませんでした。今回の事業再開のためグループ補助金と県事業再開等支援補助金を併用申請するにあたって、両補助金の申請をスムーズに行うための整理・助言と、県事業再開等支援補助金の認定支援機関確認書を作成して頂きました。厳しいスケジュールでしたが、両補助金を活用しスムーズに事業再開できました。今後も商工会と一緒に町復興実現化に寄与していきたいと思います。



経営支援レポート

元気印

ズームアップ。

県内4地域の商工会から、地域でがんばっている会員企業をご紹介します。
みなさんの経営のヒントになるお話もたくさんいただきました。
是非、ご感想を福島県商工会連合会までE-メールにてお寄せ下さい。(f-wing@do-fukushima.or.jp)

県北

伊達市商工会

直営店で鮮度ある 美味しさを



伊達物産 株式会社
代表取締役 清水 建志氏

〒960-0707
福島県伊達市梁川町字南町谷川13
TEL 024-577-2111

■事業所紹介

当社は、昭和32年に穀類と飼料の販売業として、『農は国の基なり』を経営方針に掲げて創業。その8年後プロイラー業に着手し『大東プロイラー生産組合』を設立。昭和61年には現在主力商品となっている『伊達鶏』の生産を開始し、東京営業所を開設いたしました。伊達鶏は、創業者の清水昌夫氏の『フランスのプレス鶏のような鶏を日本で生産したい』という思いが原点となっております。

■直営店を拡張

直営店『からあげ伊達屋』は業界の中でも先駆的存在でした。処理場ではどうしても規格外などのロスが出てしまうので、これを何とかしたいという思いから約20年前に1坪の店舗で唐揚げを販売するのがきっかけでした。これが思いのほか評判を呼び、改装を重ねて4代目になる今の店舗は40坪まで拡張し売り場面積を広くしました。鶏肉関係だけでなく地域の農産物やパンなども置きはしめ、イトインもできるようにした結果、今では一種の道の駅のような役割を担うようになり、地域の核のような存在にまで育ってきました。特に年末年始やゴールデンウィークのような里帰りシーズンになると大量にまとめた買いをしてくださる方がいて、会社の経営的にも大いに助けています。また、ロスの解消という意味で、唐揚げに限らずジャーキーやシューマイといった加工品にも注力してお

りまして、こうした加工品は展示会などにも出展しており、徐々に認知度を高めています。今後はブランド化で、競合他社との差別化を図り、地域資源を活かした商品開発を行い、『伊達鶏』の魅力発信を強化していくことを当社は目標としております。



■商工会との関わり

現在、伊達市商工会青年部に在籍。地域振興事業に参加し『伊達のふるさと夏まつり』や『だてな太鼓まつり』、各町のイベントに出店、弊社の鶏肉を使った『伊達の男串』(長さ20cmの串に鶏肉約10個を刺した焼き鳥)を販売しております。伊達市のうまいものNo.1を決める『D-1グランプリ』(保原町で開催)では『伊達の男串』が2014年~2016年にグランプリを獲得し、三連覇を達成。町内外に食材の良さを広くPRすることができました。今後開催される『ふくしまバーガーサミット』において伊達市商工会青年部は『伊達鶏 まさむね(正胸肉)バーガー』の新品を開発し販売を予定しております。商工会活動を通して『伊達鶏』のより一層の認知度アップを図るとともに、地域振興に貢献したいと考えております。

県中・県南

中田町商工会

明治からの伝統を 後世に引き継ぐ



かど屋
代表 神山 修一氏

〒963-0713
福島県郡山市中田町高倉字下ノ沢84
TEL 024-943-1917
営業時間/8:30~18:00
定休日/毎週火曜日

■明治から受け継がれる和菓子への情熱と技術



郡山市の東部、中田町で和菓子店を営む『かど屋』さんをご紹介します。創業は明治31年、現在の店主である神山修一さんは三代目になります。地域に密着した和菓子店で、店主こだわりの材料から作られる黒糖萬頭や揚げ萬頭、みそ萬頭は、地元家庭のお茶請けとして、また贈答品としても重用されております。中でも、看板商品である黒糖萬頭「和すけ萬頭」は、創業者が明治31年に試行錯誤の末作った逸品です。和すけ萬頭は、戦時中に材料入手が困難となり一時は生産が途切れ、以後幻の萬頭となりましたが、現店主の修一さんが代々受け継がれてきた僅かな記憶、言い伝えを礎に研究を重ね、平成17年、実に80年ぶりに再現することに成功しました。まさにかど屋の歴史とも言える萬頭です。三代目の和菓子作りへの情熱と技術は、後継者である四代目の神山典之さんに受け継がれ、平成24年に当時福島県では初となる全国和菓子協会認定「優秀和菓子職」に選出され

ました。新作の研究や技術の向上に止まらず経営の革新にも意欲的であり、商工会は、ものづくり補助金事業計画や経営革新計画の実行など現在進行形で伴走支援しているところです。

■商工会は身近で頼れる経営パートナー

商工会との関わりは先代店主からで、約40年に渡ります。今日までに記帳指導や商品のラベルやPOPの作成、専門家の派遣など様々な支援を受けて参りました。近年は指導員の勧めで持続化補助金・ものづくり補助金などの各種補助金制度のほか、経営革新計画の承認に挑戦しました。経営計画書類作成の際は常に職員や専門家の先生に御支援頂き、お陰様で無事採択・承認頂くことが出来ました。地元は過疎高齢化が進み、それに伴い固定客も減少しているなか、これら各制度の挑戦はこのような時勢に活路を見出す大切な取組みであり、経営計画は貴重な道標だと思います。環境と共に企業は変わり続け、考え続けなければなりません。考え悩み続けることは決して容易な事ではありませんが、身近に商工会がある事、職員がいつでも相談に乗ってくれる事は非常に心強く思います。



Information

商工会だより

地域の情報を発信し、今年で十五周年



喜久田町商工会長
の飯島成一です。

喜久田町は、昭和四〇年に近隣十二市町村と合併し、現在の郡山市喜久田町となりました。当町には国道四号線と四十九号線、東北自動車道郡山インターチェンジ、磐越自動車道郡山ジャンクション、JR磐越西線喜久田駅があり、交通の要衝としての役割を担っているとともに、郡山市の流通拠点として、南東北総合卸センターや郡山トラックセンターが立地しています。西部には郡山西部第二工業団地があり、平成二十六年に国の産業技術総合研究所「福島再生可能エネルギー研究所」が開所したこともあり、工業団地の玄関口である喜久田町には人の往来が増えています。東部地域では住宅地の開発が進み人口が増加している一方、北部には田園風景が一面に広がっており、町内にある「小室山」からは、田園風景と企業集積地、晴れた日には郡山駅を中心とする市内中心部が一望できます。

喜久田町商工会

地域「コミュニティ紙」「キクちゃんタイムス」

商工会が発行する地域情報紙「キクちゃんタイムス」は創刊から十五年を迎えることができました。平成十四年二月に創刊号を発行してから、現在まで通算二百十五回、喜久田町全域の他隣接する熱海町、富田町、富久山町の一部地域に新聞折込みしています。平成二十一年には、創刊一〇〇号と商工会創立五〇周年を記念して、「北朝鮮拉致被害者の会」の横田夫妻の特別講演会を実施しました。今年の二月には創刊十五周年記念事業としてイメージキャラクターを公募し、地元小学生がデザインした新キャラクター「キクちゃん」が誕生しました。紙面も「キクちゃんタイムス」から「キクちゃんタイムス」へ刷新し、新たな気持ちで発行してまいりますのでご期待ください。



新イメージキャラクター「キクちゃん」喜久田町の「喜」を使いデザインされました

サマーフェスティバルinきくた



左：屋内会場 右：屋外会場



喜久田町商工会が実施する「サマーフェスティバルinきくた」は毎年お盆あけ最初の土曜日に開催しています。商業部会、工業部会、青年部、女性部が中心となつて、模擬店や子供縁日を運営し、たくさんの方々が賑わっています。小さな子供からお年寄りまで楽しむことができるステージイベントや、会員協賛による大抽選会などが実施され、熱気あふれる会場は、過ぎゆく夏の風物詩として住民に愛されています。

四季の里「郡山緑水苑」

秀峰安達太良を背景に清流五百川に隣接した約三万坪に及ぶ自然型池泉回遊式の花庭園が郡山緑水苑です。春の桜を始めツツジ、シヤクナゲ、花菖蒲、アジサイ等の花々、秋のモミジ等が装いを替えながら豪華に苑内を彩ります。

御休息所では山菜の天ぷらやそば、うどん、シソの葉のおにぎりが大好評です。苑内にはハーベキューや芋煮会にも使える野外、屋内の施設やイベント用の芝生広場などがあります。家族連れや、花を愛でる人々、アマチュア写真家が多く訪れます。この花々に囲まれた庭園にぜひお越しください。



Information

商工会だより

日和田町の 地域活性化を目指して

日和田町商工会



日和田町商工会長の仲本裕守です。日和田町は、国道四号線が町の西側を南北に走る、郡山の北部に位置しています。日和田町は区画整理事業推進のおかげで、人口が二〇年前の八千五百余人から現在は一万人を超えております。日和田町は、古くは安積郡の北部の商業の中心として活況を呈していたと聞いております。

二十一年前に商工会で誘致して出来た、大型商業施設「日和田ショッピングモール・フェスタ」は順調に経過している一方、旧国道四号線沿いを中心とした商店会の会員は、三〇年前は五〇余店、十六年前は十九店、現在の会員は十五店となっております。少なくともは、各商店がそれぞれ工夫をして、町民の方々に不便をかけないよう努力をしております。商工会では個店の相談に対応している他、商店会の指導にも力を入れてアドバイスをしております。町の観光協会の「観光

地図の作成」と郷土史会の「日和田町の歴史カルタ作り」には微力ではありましたが日和田町のアピールに協力させていただきました。

事業としまして、

会員と家族参加の「ボウリング大会」、町民を対象とした「ゴルフコンペ」、昨年から実施しました「ビールまつり」、青少年健全育成協議会との共催の「こども縁日」の開催と各イベントは盛況ですが、もっと盛り上げていきたいと思っております。

一方、六次化商品開発といわれる中、農業とどう取り組めば良いか、商工会としては課題中の課題です。

いろいろな課題に対しまして、役員が一丸となつて良い方向へ進んでいきたいと思っております。

こども縁日&ビールまつり

昨年から地域の子供たちを対象とした夏まつり「こども縁日」を七月に商工会館の駐車場を利用して開催しています。会員事業所が出店して、日頃から



地元商店を「愛顧」いただいている消費者の皆さんへの特典サービスや青年部、女性部による露店出店やイベントで楽しんでいただいております。

夜の部は「ビールまつり」を商工会館二階で開催して、会員事業所の事業主だけでなく家族・従業員も対象として会員同士の交流をはかっております。

まだまだ小さなイベントですが、今後も地域の子供たちに浸透して地域活性化の一助になるよう商工会でも地域振興に積極的に取り組んで参ります。



青年部事業



毎月の例会を全部員参加で開催しております。地域貢献事業として、十月の第三日曜日に地元の日和田八幡神社秋季祭礼の神輿担ぎに協力しております。現在の青年部員も八名となり、青年部OBや現役部員の友人知人等の紹介をいただき、数少ない担ぎ手でなんとか地元の祭りを盛り上げたく毎年協力しております。

ムダを省いたオールインワン補償で、“様々なリスク”から事業者をお守りします！

商工会の

ビジネス総合保険

第三者に対する損害賠償

製造物責任などの、業務上の偶然な事故による財物損壊等の賠償責任を補償！



万が一の休業損害

偶然な事故による休業損害を補償！



財物の損害

偶然な事故による商品等の損害を補償！



商工会のビジネス総合保険 5つの特長

- 商工会のスケールメリットを生かした割安な保険料水準！
- 包括的な補償で手続きがとっても簡単！
- 保険期間途中での変更手続きが不要で、とっても安心！
- 業種に応じた幅広い補償で貴社を守ります。
- リコール費用、情報漏えい補償など時代に求められる特約を用意。

今までの保険



各種保険にバラバラに加入していると、補償の漏れやダブリがないか不安…。

商工会のビジネス総合保険なら



- さまざまな賠償リスクをスッキリまとめて補償！
- 複数の事業所も1つにまとめて補償！重複もありません。

制度運営 全国商工会連合会

お問合せ先 各地商工会

ビジネス総合保険

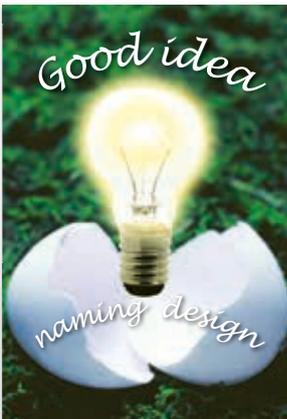
検索

引受保険会社(中小企業PL保険等既存制度の取扱件数順)

東京海上日動火災保険株式会社
損害保険ジャパン日本興亜株式会社

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
三井住友海上火災保険株式会社

◎この広告は、本制度の概要を示したものです。ご加入にあたっては必ず「重要事項のご説明」をご覧くださいとともに詳細は引受保険会社の約款、パンフレットに従います。



福島県知財総合支援窓口

県内唯一の知的財産に関するワンストップ無料相談窓口

経営課題の解決は知財で

TEL 024-963-0242

郡山市待池台1-12 福島県ハイテクプラザ2F

知的財産の活用についてお気軽にご相談ください！

窓口支援のポイント

- 1 支援担当者が悩みや課題を解決支援
- 2 必要に応じて専門家を活用
- 3 企業等での訪問相談も可能

(独)工業所有権情報・研修館事業 実施：一般社団法人福島県発明協会 <http://www.fukushima-i.org>



News Clipは循環型社会の現実を目指して、環境に配慮した植物油インキと再生紙を使用しています。